

医学研究実施について

当院では下記の研究を実施しております。この研究は水戸協同病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究の対象となる方(または代理人の方)で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に試料や情報を利用することをご理解できない場合は、お手数ですが下記の連絡先までお申し出下さい。

ただし、対象となることを希望されないご連絡が、研究期間以降になった場合には、研究に使用される可能性があることをご了承下さい。同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【研究課題】

バセドウ病に対する¹³¹I内用療法での3時間および24時間甲状腺摂取率の差異と治療の有効性

【研究計画の概要】

○目的

バセドウ病の治療法には大きく分けて薬物療法、手術療法とアイソトープ治療(¹³¹I内用療法)があります。そのうち、アイソトープ治療は放射性ヨウ素(¹³¹I)カプセルを内服して甲状腺内部から放射線を照射する治療です。手術よりも身体への負担が少なく効果が得られる安全な治療法ですが、治療効果に個人差があることが欠点です。アイソトープ治療をする前に、甲状腺にどの程度アイソトープが取り込まれるか、カプセルを内服して服用3時間後・24時間後に甲状腺摂取率検査を行います。服用3時間後の摂取率が24時間後の摂取率よりも上回る方では、アイソトープ治療の効果が不十分になる可能性が高いと報告されています。本研究は、当院でアイソトープ治療を受けたバセドウ病患者さんを対象に、甲状腺摂取率によって治療効果に差があるかどうかを明らかにすることを目的としています。

○研究期間

本研究の実施許可日～1年間

○対象となる方

・2015年4月1日～2020年4月30日に水戸協同病院内分泌代謝・糖尿病内科でバセドウ病のアイソトープ治療を受けた方

・ただし、以下の条件のうち少なくともどれか一つを満たす者は除きます。

- ① 以前にもアイソトープ治療を受けたことがある方
- ② アイソトープ治療後、1年間以上の水戸協同病院内分泌代謝・糖尿病内科の通院歴がない方

○研究に利用する試料、情報

- ・研究に使用する試料:ありません。
- ・研究に使用する情報:電子カルテにある診療録情報(匿名化したID、年齢、性別、身長、体重、甲状腺重量、甲状腺機能、抗甲状腺薬の内服状況、甲状腺眼症の有無、甲状腺摂取率検査、放射線ヨウ素カプセル投与量など)

○倫理的事項

- ・この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担はありません。
- ・統計処理した情報のみ使用し、患者さんを特定できる情報は使いません。

○その他

研究に参加することで新たな費用は発生しません。また謝金、金品の支払いなどは発生しません。

【問い合わせ先】

筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター・総合病院水戸協同病院 内分泌代謝・糖尿病内科

研究責任者:野牛 宏晃

電話:029-231-2371(代)